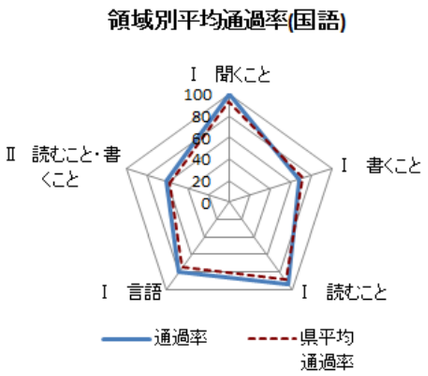
指導方法等の改善計画について　〔 国 語 〕

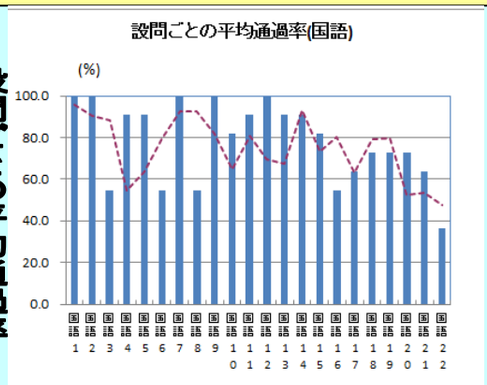
呉市立三津口小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 78.1%，県 74.7%）

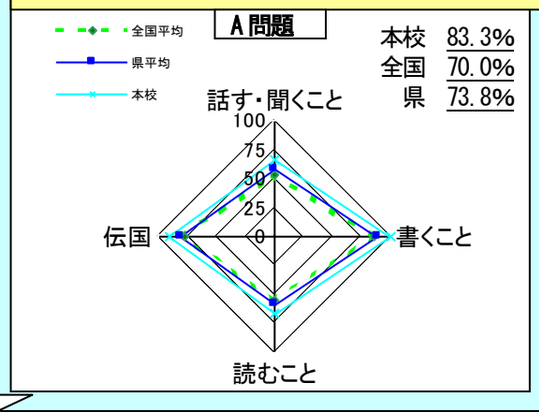
領域別平均通過率

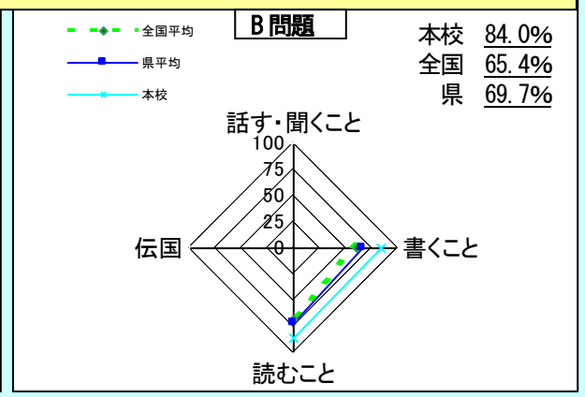


設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

情報の取り出し，理由や事例を挙げた記述に関する問題に課題がある。
◎　（通過率：３６．４%）

◇コラムの中で，筆者が引用している言葉を書き抜く問題に課題がある。
（通過率：２２．２%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎・文章と複数の資料を関連付けて読む活動を行う。
・説明する内容と複数の資料を関連付け，それらを根拠にした文章を書いたり，話したりする活動を取り入れる。

◇・事実と意見に着目して，文章を読ませ，自分で文章を書くことにつなげる。
・引用について理解を図る。また，資料から引用し，意見をまとめる活動を行う。

※本中学校区において作成した呉型カリキュラムに基づき，「読む力」について小中一貫した指導をおこなう。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	5 年生復習テスト				全学年 標準学力調査	4 年生 H. 27「基礎・基本」	4･5 年生 学年末テスト
目標値	80. 0%				70. 0%	70. 0%	80. 0%
実施後数値	82. 0%				76. 9%	70. 0%	80. 0%

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	6 年生復習テスト			5 年生 H. 27「全国学力」	全学年 標準学力調査		5 年生学年末テスト
目標値	70. 0%			60. 0%	70. 0%		80. 0%
実施後数値	87. 0%			59. 0%	76. 9%		75. 0%

来年度に向けて

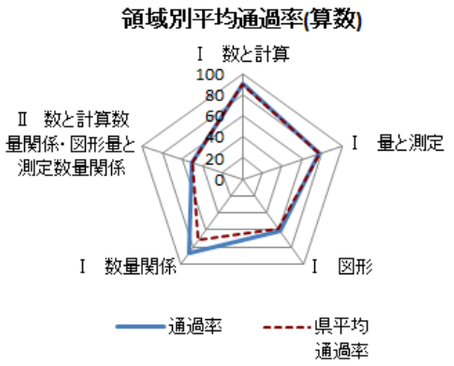
図表やグラフが添えられた文章を意図的に提示し，それらを関連づけて読んだり，気づいたことや分かったことなどを自分の考えとして書いたりする指導を行う。
安浦中学校区で作成した呉型カリキュラムによる「読む力」の育成を図る。

指導方法等の改善計画について　〔 算 数 〕

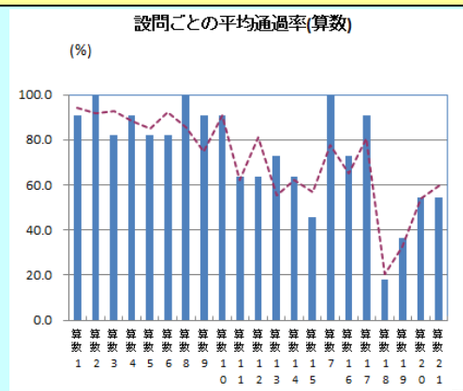
呉市立三津口小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 73.6%，県 71.6%）

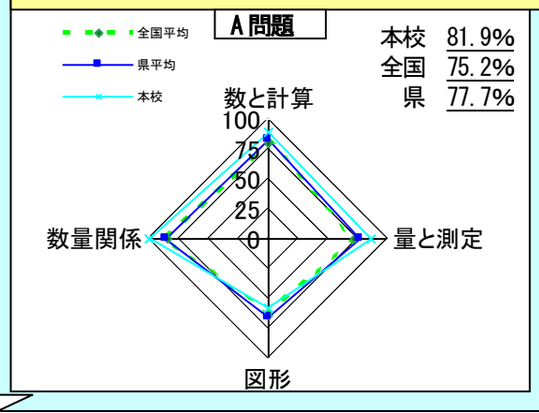
領域別平均通過率

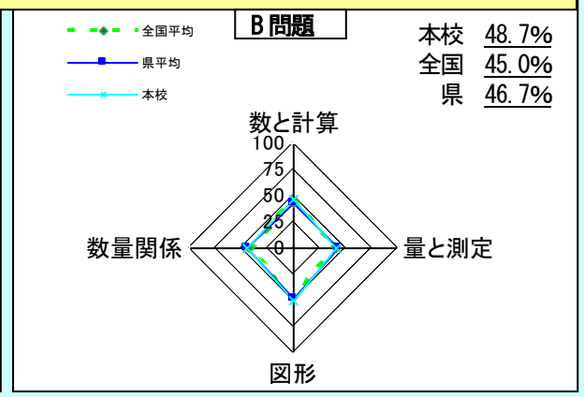


設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎　図形の性質を理解して，条件に合った図形を作図する問題に誤答が多かった。（通過率４５．５％）
グラフや表から必要な情報を読み取り，情報に合わせて説明する問題に誤答が多かった。（通過率１８．２％）

◇　もとにする量が分からない時の割合の問題ができていない。（通過率０．０％）
図形の特徴や性質を使って求める問題に誤答が多かった。（通過率４４．４％）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎　図形の特徴や性質を意識し，それを活用した問題を解いたり，作図したりする活動を多く取り入れる。
様々な資料から適切に情報を読み取ったり必要な情報を選んだりして，言葉や式，図等を活用しながら，条件に合わせて考えを書いたり，説明したりする活動する活動を多く取り入れる。

◇　「もとにする量」，「くらべる量」，「割合」を意識し，何を求めるかを考えて問題を解く練習を多く取り入れる。
読み取った情報を使って問題を解き，自分の言葉で説明する活動を多く取り入れる。

※　基礎的・基本的な算数用語をくり返し学習させて定着を図るとともに，さまざまな資料を分析したり，必要な情報を取り出したりする学習活動を取り入れる。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	5 年生復習テスト				4 年生 H.27「基礎・基本」	3 年生 H.27「基礎・基本」	4･5 年生 学年末テスト
目標値	80.0%				75.0%	70.0%	80.0%
実施後数値	78.0%				80.0%	72.0%	81.0%

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	6 年生復習テスト			5 年生 H.27「全国学力」			5 年生単元末テスト
目標値	80.0%			60.0%			75.0%
実施後数値	77.7%			63.0%			77.0%

来年度に向けて

問われたことに対して，必要な情報を的確に捉え，，情報を整理しながら考え，自分の言葉で説明する学習活動を多く取り入れる。

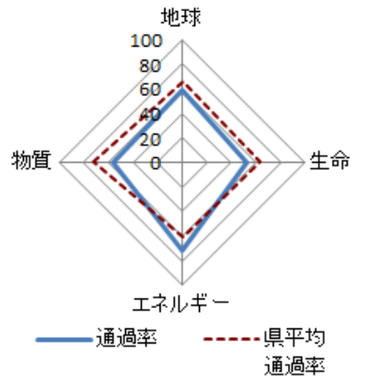
図形の性質を押さえ，日常の事象として捉え，図形のきまりや性質を用いて事象を説明する活動を多くする。

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

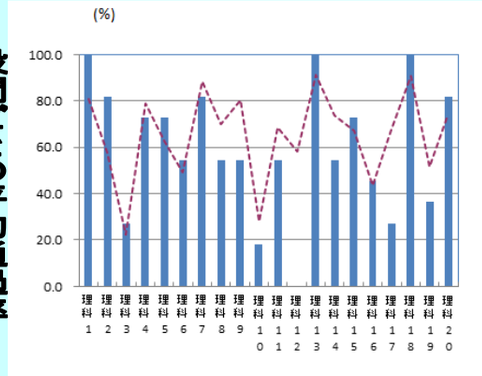
呉市立三津口小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 59.5%，県　65.3%）

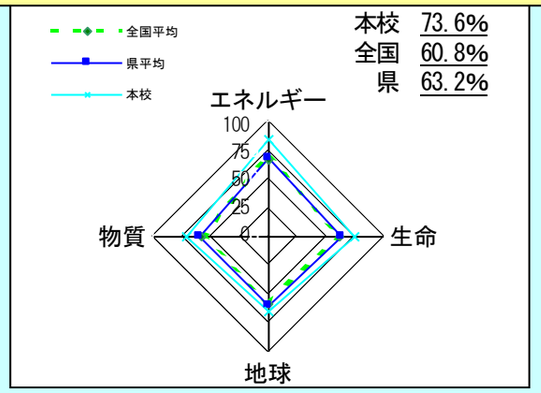
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎物質の分野の空気の温まり方と生活との関連において課題がある。（通過率０．０％）であった。また，生命分野の昆虫の体において課題がある。（通過率１８．２％）である。

◇問題形式で記述式の問題の解答が書けないという課題がある。（通過率５１．９％）また，観察・実験の技能に課題がある。（通過率５５．６％）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎　学習内容を身近な生活との関連でとらえさせながら考えさせる指導の工夫を行う。また，学習活動中やまとめにおいて課題に対し，条件に応じて必要な理科用語を用いて説明できるように考察の方法の指導改善を行う。

◇　記述式の問題にはこれまでに解いてきた経験が不足と考えられる。従って今後は，問題の読み取り方や問題についての書き方の指導を行う。また，これまでに学習した，実験・観察の技能の不正確さは実験観察を行うときにその都度正しい使い方や扱い方について意識付けをさせて指導する。

※　基礎的・基本的な理科用語をくり返し学習する機会を設けて定着を図るとともに，観察・実験の結果をもとに自分の言葉で考察する学習活動を積極的に取り入れる。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	５年生復習テスト				４年生 H27「基礎・基本」	４年生 H27「基礎・基本」	４・５年生 学年末テスト
目標値	70.0%				70.0%	75.0%	75.0%
実施後数値	78.0%				75.0%	80.0%	85.0%

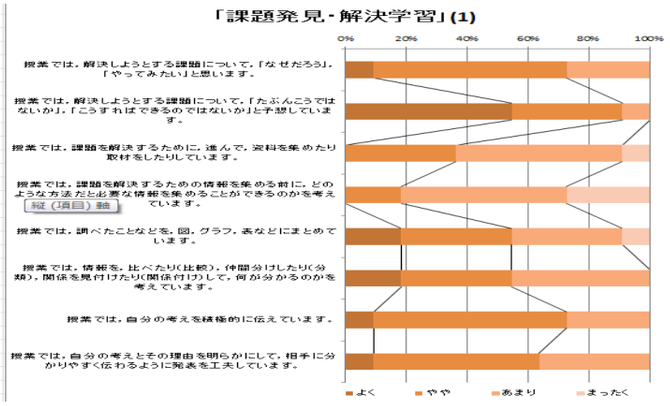
◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	６年生復習テスト			５年生 H27「全国学力」	５年生 H27「全国学力」		５年生 単元末テスト
目標値	70.0%			60.0%	70.0%		75.0%
実施後数値	77.7%			58.0%	63.0%		87.0%

来年度に向けて

学習内容を身近な生活との関連でとらえさせながら考えさせ，学習活動やまとめにおいて課題に対し，条件に応じて必要な理科用語を用いて説明できるように考察の方法の指導を行う。

2　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

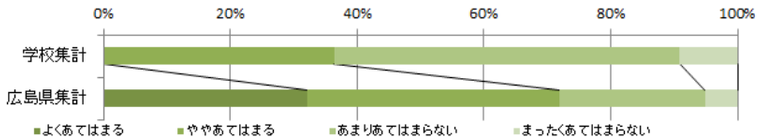
（1）生活・学習



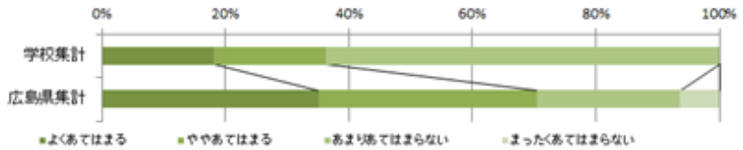
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	○課題発見・解決学習における情報の収集に課題がある。（肯定的評価 18.2%）	○課題発見・解決学習型の授業展開となるように工夫する。自ら課題を発見させ，課題を明確にし，計画的に情報収集できるようにする。	5	60%	アンケート調査	1月	72.7	54.3
全国	○自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して発表することに課題がある。（肯定的評価　55.5%）	○課題発見・課題学習型の授業展開を工夫するとともに，児童どうしのかかわり合いによって課題解決できるようにする。	6	80%	アンケート調査	1月	88.8	33.3

（2）教科

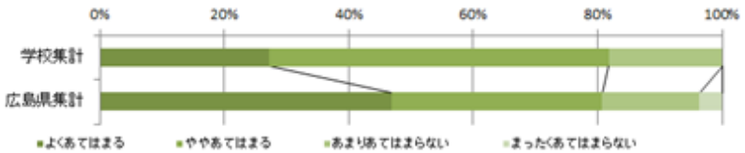
伝えたいことの中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を書いています。



式が何を意味しているのかを考えたり，式に当てはまる問題をつくっています。



理科の授業では，観察や実験を行うときは，その目的は何かを意識しています。



「基礎・基本」定着状況調査の調査結果入力ファイルで作成されるグラフを適宜活用する。

		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	○伝えたいことの中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を書くことに課題がある。（肯定的評価　36.4%）	○朝の会のスピーチなどで組み立てメモを書いて話すなど，話すことと合わせて毎日取り組む。	5	60%	アンケート調査	1月	72.7	36.3
	全国	○目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりすることに課題がある。（肯定的評価　66.7%）	○言語活動を活発化させるとともに新聞を活用して自分の考えや話したり書いたりすることを積み上げる。	6	80%	アンケート調査	1月	77.7	11.0
算数	基礎・基本	○式が何を意味しているのかを考えたり，式に当てはまる問題を作ることに課題がある。（肯定的評価 36.4%）	○問題文を図で理解しながら式に表したり，式から問題を考える活動に多く取り組む。家庭学習でも取り組ませる。	5	60%	アンケート調査	1月	63.6	29.2
	全国	○ノートに問題の解き方や考え方が分かるように書き表すことに課題がある。（当てはまるの回答　33.3%）	○毎時ノート指導をくり返す中で，絵・図・表・式などを使って自分の考えを書く場を確保する。	6	60%	アンケート調査	1月	66.6	33.3
理科	基礎・基本	○観察や実験の結果をノートやグラフ，表などに記録したり記述したりする方法について学んでいることに課題がある。（肯定的評価 36.4%）	○実験や観察の結果をグラフや表に記録する方法について考えさせる機会を設ける。ノートの見本等を掲示する。	5	60%	アンケート調査	1月	72.7	36.3
	全国	○自分の予想をもとに計画を立てて観察や実験をおこなうことに課題がある。（当てはまるの回答　44.4%）	○課題発見・課題解決型の授業展開を工夫し，子どもの興味関心や疑問を生かした授業を展開する。	6	60%	アンケート調査	1月	77.7	33.3